

風しん 注意!



©pref kagoshima greboo

生まれてくる赤ちゃんのために 「風しんワクチン」

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります

女性は妊娠前に



風しんの予防接種を
ご検討ください

接種後2ヶ月は避妊が必要です。
接種回数は子どもの頃の接種を
含め2回です。

成人男性は

風しんにかかったことがない方
風しんワクチンを受けていない方
どちらも不明の方



風しんの予防接種を
ご検討ください

2回接種しても問題はありません。

妊娠中の女性の家族は



風しんの予防接種を
ご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられ
ません。
1歳児(第1期)と、小学校入学前
(第2期)は、麻しん風しん混合ワク
チンの定期接種を受けましょう。

特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

風しんの予防接種は、はしか(麻しん)も一緒に予防できる麻しん風しん混合(MR)ワクチンで受けることをおすすめします。

鹿兒島県では、生まれてくる子どもの先天性風しん症候群の発生を防ぐため、妊娠を希望する女性やその配偶者等を対象とした無料の抗体検査を、平成26年5月1日から実施しています。

[風しん 鹿兒島県](#)[検索](#)[風しん抗体検査 鹿兒島県](#)[検索](#)